ゆりぐみだより

２０２４年度　９月号
尚徳福祉会　おぐら保育園

虫の声が心地よく聞こえると、どこで鳴いているのか、どんな虫なのか興味津々の子どもたちは元気に虫探しを楽しんでいます。これからは運動会の練習で体を動かす機会が多くなりますので、引き続き休息と水分補給をしていきたいと思います。

☆ひまわり☆

子どもたちがお花の図鑑を見ている時に『前のゆり組さん育てていたね』と話しており、そこから、ひまわり制作をすることになりました。筆の代わりに、手の平や指を使い、絵の具をつけてひまわりを表現していきました。ほとんどの子が、どのように描いていくか頭の中でイメージをしてから取り掛かっていました。指先に絵の具をつけていくと『冷たい』『気持ちいい』と反応がさまざまでした。少しずつひまわりが完成してくると『花びらは黄色とオレンジにしよう』こだわっている子もいました。また、描いている途中に肘や足などに絵の具がついてしまうと『みてみてー』嬉しそうにし、保育室には２１本のひまわり畑ができました。

☆ジャブジャブランド☆

台風の影響で内容が一部変更となりましたが、子どもたちは『台風１０号きているんだって』とテレビで得た知識を教え合っていました。

室内では【かき氷】【スライム】を行いました。一番人気はやはりスライムでした。以前から担任が実験で作っていたスライムに興味を示していたことで『スライムいいにおい』『おもちみたい』『ヘビみたいに伸びるね』とスライムの感触を楽しんでいました。是非、お家でも作ってみて下さい。また、かき氷は『おいしい』『いちご味だ』とおいしそうに食べていました。今後、天気が良い日にスイカ割り・ボディーペインティングなどをしたいと思います。詳細は後日お知らせいたします。

☆息や音を合わせる☆

太鼓のチームや、並び順が決まると、チーム同士でタイミングを合わせて太鼓を叩く、抜ける、入ることに苦戦しながらも『お父さんお母さんにかっこいいところをみせたい』と一生懸命取り組んでいます。太鼓の時間以外でも練習用の台を用意して『すっとんすっとん』と自主練をしている姿も見られました。みんなで音を合わせることの難しさと楽しさを経験しながら、どの子も堂々とたたけるように自信をつけてあげたいと思います。お家でもたくさんの応援や励ましをお願いいたします。

☆お願い☆

〇日々の爪のお手入れをこまめに行っていただきありがとうございます。引き続き、爪が長い、ガタガタになっていると友だちと接触した際に、自分やお友だちに傷がついてしまうことがありますので爪の確認をお願いいたします。